

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	:LUS-200 Cyan
品番	:LUS20-C-BA
Ink Ver.	:1
会社名	:株式会社ミマキエンジニアリング
住所	:長野県東御市滋野乙2182-3
担当部門	:技術本部
メールアドレス	:ink@mimaki.com
電話番号	:0268-64-2413
FAX番号	:0268-64-5580
緊急時の電話番号	:0268-64-2281
	:公益財団法人 日本中毒情報センター 中毒110番
	* 一般市民専用電話
	(大阪)072-727-2499 365日 24時間対応
(事故に伴い急性中毒のおそれがある場合)	(つくば)029-852-9999 365日 9~21時対応
	* 医療機関専用電話
	(大阪)072-726-9923 365日 24時間対応
	(つくば)029-851-9999 365日 9~21時対応
推奨用途及び使用上の制限	:UV硬化型インク、インクジェットプリンター用

2. 危険有害性の要約

[GHS分類]

物理化学的危険性	
引火性液体	:区分外
健康に対する有害性	
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	:区分2A
皮膚感作性	:区分1
生殖毒性	:区分2
特定標的臓器/全身毒性(反復ばく露)	:区分1(呼吸器系)
環境に対する有害性	
水生環境有害性(急性)	:区分1
水生環境有害性(長期間)	:区分1

上記で記載が無いものは、分類できない、分類対象外

[GHSラベル要素]

絵表示



注意喚起語
危険

危険有害性情報

H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

H319 強い眼刺激
H361 生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い
H372 長期にわたる、または反復暴露による臓器の障害(呼吸器系)
H410 長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書

[安全対策]

P201 使用前に安全データシート(SDS)及びプリンター取扱説明書を入手すること。
P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
P260 ガス、ミストを吸入しないこと。
P264 取扱後は手、眼をよく洗うこと。
P270 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
P273 環境への放出を避けること。
P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

[応急措置]

P302+P352 皮膚に付着した場合:多量の水と石鹸で洗うこと。
P305+P351+P338 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P308+P313 暴露または暴露の懸念がある場合:医師の診断/手当てを受けること。
P314 気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。
P333+P313 皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合、医師の診断/手当てを受けること。
P337+P313 眼の刺激が続く場合:医師の診断/手当てを受けること。
P362+P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
P391 漏出物を回収すること。

[保管]

P405 施錠して保管すること。

[廃棄]

P501 内容、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託し廃棄すること。

[その他の危険有害性]

・高温になると引火、燃焼する恐れがある

3. 組成、成分情報

単一物質・混合物の区分 :混合物
成分及び含有量

成分名	含有量 [%]	官報整理番号	CAS No.	備考
イソボルニルアクリレート	15-40		5888-33-5	
2-フェノキシエチル=アクリレート	10-30		48145-04-6	
ジフェニル(2,4,6-トリメチルベンゾイル)ホスフィンオキシド	7.0-13		75980-60-8	
テトラヒドロフルフリルアクリレート	7.0-13		2399-48-6	
ビニルモノマー	7.0-13		営業秘密	
ピグメントブルー15	1-5	安衛法政省令番号:379(銅及び銅化合物)	147-14-8	*1

アクリルモノマー	3.0-7.0		営業秘密	
2,4-ジエチルチオキサントレン-9-オン	1.0-5.0		82799-44-8	
脂肪族ウレタンアクリレート	1.0-5.0		営業秘密	
置換アミノオリゴマー	1.0-5.0		営業秘密	
分散剤	<2.0		営業秘密	
安定剤	<1.0		営業秘密	

*1 安衛法：名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物・・・銅及び銅化合物（1-5%）

4. 応急措置

吸入した場合

- ・気分が悪くなった場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・症状が改善しない場合には、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

- ・付着物を布にて素早く拭き取る。
- ・大量の水および石鹸または皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。
- ・外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪い時には医師の診断を受けること。
- ・汚染された衣類を取り除くこと。

目に入った場合

- ・直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
- ・まぶたの裏まで完全に洗うこと。
- ・直ちに医師の診断を受けること。

飲み込んだ場合

- ・誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。
- ・嘔吐物は飲み込ませないこと。
- ・医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

応急措置をする者の保護

- ・適切な保護具(保護メガネ、防護マスク、手袋等)を着用する。
- ・換気を行う。

5. 火災時の措置

消火剤

- ・通常の燃焼性物質の消火に適した水あるいは泡消火剤などを使用すること。

使ってはならない消火剤

- ・棒状水、高圧水、棒状強化液

特有の危険有害性

- ・火災の熱で密封している容器内の圧力が増し、爆発するおそれがある。

有害な分解物または副生成物

物質/条件

- ・一酸化炭素/燃焼中
- ・二酸化炭素/燃焼中

特有の消火方法、消火を行う者の保護

- ・適切な保護具(耐熱性着衣等)を着用する。

- ・安全に対処できるのであれば、可燃性のものを周囲から取り除く。
- ・指定の消火剤を使用すること。
- ・高温にさらされる密封容器は水をかけて冷却する。
- ・消火活動は風上より行う。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- ・作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。
- ・屋内では換気をしっかり行う。
- ・屋外の場合には、できるだけ風上から作業を行う。
- ・周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。
- ・付近の着火源・高温体及び付近の可燃物を素早く取り除く。
- ・着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。

環境に対する注意事項

- ・河川への排出等により、環境への影響を起さないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法・機材

- ・漏出物は、密封できる容器に回収し、安全な場所に移す。
- ・付着物、廃棄物等は、関係法規に基づいて処置すること。
- ・衝撃、静電気にて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。
- ・乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸収させて回収する。大量の流出には盛土で囲って流出を防止する。
- ・スコップ、ウエス等で回収する。大量の流出には盛土等で流出を防ぐ。水での洗浄等も河川等への排出、環境汚染を引き起こす恐れもあり注意する。
- ・責任者が選択した適切な溶剤を使用して残留物を清掃する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- ・酸化剤との接触を避ける(塩素、クロム酸等)。
- ・換気の良い場所で取り扱う。
- ・周辺で火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。
- ・作業中は、帯電防止型の作業服、靴を使用する。
- ・工具は火花防止型のもを使用する。
- ・皮膚、粘膜、または着衣に触れたり、目に入ったりしないよう保護具を着用する。
- ・取扱い後は手・顔等は良く洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まない。
- ・過去に、アレルギー症状を経験している人は取り扱わないこと。

保管

- ・日光の直射を避ける
- ・通風の良いところに保管する。
- ・盗難防止のために施錠保管する。
- ・子供の手の届かないところに保管する。
- ・酸、酸化剤から離して保管する。
- ・火気、熱源から遠ざけて保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

[管理濃度、許容濃度]

成分名	出展先	管理濃度または許容濃度(TLV)
銅化合物	ACGIH	TWA(銅粉末ないしミストとして):1mg/m ³ TWA(銅ヒュームとして):0.2mg/m ³
ビニルモノマー (営業秘密)	事業者の判断	TWA:0.1 ppm(0.57 mg/m ³)
テトラヒドロフルフリルアクリレート (CAS No.2399-48-6)	事業者の判断	TWA:0.1 ppm(0.64mg/m ³) STEL:0.3ppm(1.91 mg/m ³)

ACGIH: American Conference of Governmental Industrial Hygienists

TWA: 時間加重平均値

STEL: 短時間ばく露限界値

[設備対策]

- ・取扱い場所の近くには、高温、発火源となるものが置かれないような設備とすること。
- ・屋内作業の場合、作業者が直接暴露されない設備とするか、全体換気装置または、局所排気装置等により作業者がばく露から避けられるような設備にすること。

[保護具]

呼吸器の保護具

- ・作業を行う場合には、適切な保護マスクを着用すること。

手の保護具

- ・有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用すること。
推奨される手袋の材質:樹脂ラミネート。

目の保護具

- ・取り扱いには保護メガネを着用すること。
推奨する眼の保護具:間接式換気ゴーグル

皮膚及び身体の保護

- ・取り扱い場合には、皮膚を直接曝露されないような衣類を着けること。また、化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。
推奨保護具:ポリマーラミネート製エプロン

9. 物理的及び化学的性質

性状(状態、色)	:シアン色液体
臭い	:アクリル臭
臭いの閾値	:データなし
pH	:適用しない
融点・凝固点	:適用しない
沸点(初留点及び沸騰範囲)	:> 95 °C
引火点	:95 °C [試験方法:クローズドカップ法]
蒸発速度	:データなし
引火性(固体、ガス)	:適用しない
燃焼又は爆発範囲の上限下限	:データなし
蒸気圧	:データなし
蒸気密度	:データなし
比重(密度)	:1.06 [参照基準:水=1]

溶解度	:データなし
n-オクタノール/水分配係数	:データなし
自然発火温度	:データなし
分解温度	:データなし
粘度	:20 mPa-s [試験条件 25 °C]
揮発分	:データなし

10. 安定性及び反応性

安定性(危険有害反応可能性)

安定

避けるべき条件

熱

火花ないし炎

混触危険物質

強酸化性物質

強酸

危険有害な分解生成物

知見なし

その他の危険性情報

この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。

危険な重合が起こることがある。

11. 有害性情報

[眼に入った場合]

激しい眼への刺激:症状には発赤、腫脹、痛み、催涙、角膜の曇り、視力障害を含むことがある。

[皮膚に付着した場合]

軽度の皮膚刺激:症状/兆候には局所的な発赤、腫脹、かゆみ、乾燥を含む。

アレルギー性皮膚反応(光反応以外)を起こす可能性がある(症状は発赤、腫脹、水疱形成、かゆみを含むことがある)。

[吸入した場合]

気道刺激:症状は咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、鼻と喉の痛みを含むことがある。

[飲み込んだ場合]

飲み込むと有害の恐れ。

胃腸管組織が刺激される可能性がある(症状は腹痛、むかつき、吐き気、嘔吐、下痢を含むことがある)。

[標的臓器への影響]

長時間又は反復ばく露した場合:

吸入作用:症状は咳、息切れ、胸部圧迫感、喘鳴。頻脈、皮膚蒼白(チアノーゼ)、痰、肺機能検査の変化、呼吸不全。

[生殖毒性]

出生異常ないし他の生殖障害を引き起こす可能性のある化学物質または化学物質の混合物を含有する。

〔急性毒性〕

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	経口摂取		データ無し:計算された急性毒性推定値2,000 -5,000 mg/kg
イソボルニルアクリレート	皮膚	ウサギ	LD50 > 5,000 mg/kg
イソボルニルアクリレート	経口摂取	ラット	LD50 4,350 mg/kg
2-フェノキシエチル=アクリラート	皮膚	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
2-フェノキシエチル=アクリラート	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
テトラヒドロフルフリルアクリレート	経口摂取	ラット	LD50 551 mg/kg
ビニルモノマー	経口摂取	ラット	LD50 1,400 mg/kg
ジフェニル(2,4,6-トリメチルベンゾイル)ホスフィンオキシド	皮膚	専門家による判断	LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
ジフェニル(2,4,6-トリメチルベンゾイル)ホスフィンオキシド	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
アクリルモノマー	皮膚	専門家による判断	LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
アクリルモノマー	経口摂取	ラット	LD50 15,400 mg/kg
ピグメントブルー15	皮膚		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
ピグメントブルー15	経口摂取	ラット	LD50 10,000 mg/kg

ATE=推定急性毒性

〔皮膚腐食性/刺激性〕

製品としては該当なし

名称	生物種	値又は判定結果
イソボルニルアクリレート	ウサギ	わずかな刺激
2-フェノキシエチル=アクリラート	ウサギ	刺激性なし
テトラヒドロフルフリルアクリレート	ウサギ	刺激物
ビニルモノマー	ウサギ	わずかな刺激
ジフェニル(2,4,6-トリメチルベンゾイル)ホスフィンオキシド	ウサギ	刺激性なし
アクリルモノマー	ウサギ	刺激性なし
ピグメントブルー15	ウサギ	刺激性なし

〔眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性〕

製品としては区分2A

名称	生物種	値又は判定結果
イソボルニルアクリレート	ウサギ	軽度の刺激
2-フェノキシエチル=アクリラート	ウサギ	中程度の刺激
テトラヒドロフルフリルアクリレート	ウサギ	激しい刺激
ビニルモノマー	ウサギ	激しい刺激
ジフェニル(2,4,6-トリメチルベンゾイル)ホスフィンオキシド	ウサギ	刺激性なし
アクリルモノマー	ウサギ	軽度の刺激
ピグメントブルー15	ウサギ	刺激性なし

[呼吸器感作性又は皮膚感作性]

皮膚感作性

製品としては区分1

名称	生物種	値又は判定結果
イソボルニルアクリレート	マウス	感作性あり
2-フェノキシエチル=アクリレート	モルモット	感作性あり
テトラヒドロフルフリルアクリレート	ヒト及び動物	陽性データはあるが、分類には不十分。
ビニルモノマー	マウス	感作性あり
アクリルモノマー	モルモット	感作性あり
ピグメントブルー15	ヒト	感作性なし

呼吸器感作性

製品としては該当なし

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いが、分類するに十分なデータが無い。

[生殖細胞変異原性]

製品としては該当なし

名称	経路	値又は判定結果
イソボルニルアクリレート	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
テトラヒドロフルフリルアクリレート	In vitro	変異原性なし
ビニルモノマー	In vitro	変異原性なし
ジフェニル(2,4,6-トリメチルベンゾイル)ホスフィンオキシド	In vitro	変異原性なし
アクリルモノマー	In vitro	変異原性なし
ピグメントブルー15	In vitro	変異原性なし

[発がん性]

製品としては該当なし

名称	経路	生物種	値又は判定結果
ピグメントブルー15	経口摂取	マウス	発がん性なし

[生殖毒性]

製品としては区分2

生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
ジフェニル(2,4,6-トリメチルベンゾイル)ホスフィンオキシド	経口摂取	雄性生殖機能に有毒	ラット	NOAEL 100 mg/kg/day	90 日
ピグメントブルー15	経口摂取	雌性生殖毒性なし	ラット	NOAEL1,000 mg/kg/day	交配前および妊娠中
ピグメントブルー15	経口摂取	雄性生殖毒性なし	ラット	NOAEL1,000 mg/kg/day	42 日
ピグメントブルー15	経口摂取	発生毒性なし	ラット	NOAEL1,000	交配前

				mg/kg/day	および 妊娠中
--	--	--	--	-----------	------------

〔特定標的臓器/全身毒性-単回ばく露〕

製品としては該当なし

名称	経路	標的臓器への効果	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
イソボルニルアクリレート	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	公的な分類	NOAEL 非該当	
テトラヒドロフルフリルアクリレート	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。		NOAEL 非該当	
ビニルモノマー	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 非該当	

〔特定標的臓器/全身毒性-反復ばく露〕

製品としては区分1

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
ビニルモノマー	吸入した場合	呼吸器系	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ラット	NOAEL 0.001 mg/l	28 日
ビニルモノマー	吸入した場合	血液、肝臓、腎臓および膀胱	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 0.18 mg/l	90 日
ビニルモノマー	吸入した場合	眼	全て陰性	ラット	NOAEL 0.18 mg/l	90 日
ビニルモノマー	経口摂取	肝臓	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 260 mg/kg/day	3 月
ジフェニル(2,4,6-トリメチルベンゾイル)ホスフィンオキシド	経口摂取	皮膚、血液、肝臓、腎臓および膀胱	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	90 日
ジフェニル(2,4,6-トリメチルベンゾイル)ホスフィンオキシド	経口摂取	神経系	全て陰性	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	90 日
ピグメントブルー15	経口摂取	内分泌系、造血器系、呼吸器系	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	28 日
ピグメントブルー15	経口摂取	腎臓および膀胱	陽性データはあるが、分類には不十分。	多種類の動物種	NOAEL 非該当	非該当

〔吸引性呼吸器有害性〕

製品としては該当なし

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無い、分類するに十分なデータが無い。

[その他の有害性情報]
情報なし

12. 環境影響情報

一般注意事項

漏洩、廃棄等の際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取り扱いに注意する。
特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

生態毒性

水性毒性(急性)

GHS水生環境有害性(急性)区分1:水生生物に非常に強い毒性。

水性毒性(慢性)

GHS水生環境有害性(長期間)区分1:長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
ジフェニル (2,4,6-トリメチル ベンゾイル)ホス フィンオキシド	75980-60-8		分類にデータが 利用できない、 あるいは不足し ている			
2,4- ジエチルチオ キサントン- 9-オン	82799-44-8		分類にデータが 利用できない、 あるいは不足し ている			
ピグメントブルー 15	147-14-8		分類にデータが 利用できない、 あるいは不足し ている			
アクリルモノマー	営業秘密	ミジンコ	実験	48時間	EC50	57mg/l
イソボルニルア クリレート	5888-33-5	ミジンコ	実験	21日	有効濃度は 観察されない	0.092mg/l
イソボルニルア クリレート	5888-33-5	緑藻類	実験	72時間	EC50	1.98mg/l
イソボルニルア クリレート	5888-33-5	ミジンコ	実験	48時間	EC50	1mg/l
イソボルニルア クリレート	5888-33-5	ゼブラフィッ シュ	実験	96時間	LC50	0.704mg/l
イソボルニルア クリレート	5888-33-5	緑藻類	実験	72時間	有効濃度は 観察されない	0.405mg/l
2-フェノキシエ チル=アクリラ ート	48145-04-6	ゼブラフィッ シュ	実験	96時間	LC50	1mg/l
テトラヒドロフル フリルアクリレー	2399-48-6		分類にデータが 利用できない、			

ト			あるいは不足している			
ビニルモノマー	営業秘密	ゼブラフィッシュ	実験	96時間	LC50	318mg/l
ビニルモノマー	営業秘密	ミジンコ	実験	48時間	EC50	>100mg/l
ビニルモノマー	営業秘密	藻類	実験	72時間	EC50	>100mg/l
ジフェニル(2,4,6-トリメチルベンゾイル)ホスフィンオキシド	75980-60-8	Algae Other	実験	72時間	有効濃度10%	1.56mg/l
ジフェニル(2,4,6-トリメチルベンゾイル)ホスフィンオキシド	75980-60-8	ミジンコ	実験	48時間	EC50	3.53mg/l
ジフェニル(2,4,6-トリメチルベンゾイル)ホスフィンオキシド	75980-60-8	メダカ	実験	48時間	LC50	6.53mg/l
置換アミノオリゴマー	営業秘密	ミジンコ	推定値	24時間	EC50	25mg/l
置換アミノオリゴマー	営業秘密	ゼブラフィッシュ	推定値	96時間	LC50	>100mg/l
置換アミノオリゴマー	営業秘密	緑藻類	推定値	72時間	EC50	>100mg/l

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
アクリルモノマー	42594-17-2	推定値 生分解性	28日	生物学的酸素 要求量	27重量%	OECD 301F
テトラヒドロフルフリルアクリレート	2399-48-6	推定値 生分解性	28日	生物学的酸素 要求量	73.99重 量%	OECD 301C-MITI(1)
2,4-ジエチルチオキサントレン-9-オン	82799-44-8	モデル 生分解性	28日	生物学的酸素 要求量	13重量%	OECD 301F
2,4-ジエチルチオキサントレン-9-オン	82799-44-8	推定値 生分解性	28日	生物学的酸素 要求量	13重量%	OECD 301F
イソボルニルアクリレート	5888-33-5	実験 生分解性	28日	生物学的酸素 要求量	72.9重量%	OECD 301D - クローズドボト ル法
2-フェノキシエチルアクリレート	48145-04-6	推定値 生分解性	28日	生物学的酸素 要求量	86.5重量%	OECD 301F
ジフェニル(2,4,6-トリメチルベンゾイル)ホスフィンオキシド	75980-60-8	推定値 生分解性	28日	生物学的酸素 要求量	2.01重量%	OECD 301C-MITI(1)
ジフェニル(2,4,6-トリメチルベンゾイル)ホスフィンオキシド	75980-60-8	実験 生分解性	28日	生物学的酸素 要求量	<20重量%	OECD 301F
ピグメントブルー15	147-14-8	実験	28日	生物学的酸素	<1重量%	別法

		生分解性		要求量		
ビニルモノマー	営業秘密	実験 生分解性	28日	DOC(溶存有 機炭素)残留 量	30重量%	OECD 301A - DOC Die Away 試験
置換アミンオリゴマ ー	営業秘密	分類にデータ が利用できな い、あるいは不 足している	該当な し	該当なし	該当なし	該当なし

生態蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
ジフェニル(2,4,6-トリメチルベンゾイル)ホスフィンオキシド	75980-60-8	分類にデータが利用できない、あるいは不足している	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
テトラヒドロフルフリルアクリレート	2399-48-6	推定値 生態濃縮		生物濃縮係数	7.51	推定値:生態濃縮係数
アクリルモノマー	営業秘密	推定値 生態濃縮		生物濃縮係数	232	推定値:生態濃縮係数
ビニルモノマー	営業秘密	推定値 生態濃縮		生物濃縮係数	3.0	推定値:生態濃縮係数
2-フェノキシエチル=アクリレート	48145-04-6	推定値 生態濃縮		生物濃縮係数	32.9	推定値:生態濃縮係数
イソボルニルアクリレート	5888-33-5	推定値 生態濃縮		生物濃縮係数	660	推定値:生態濃縮係数
2,4-ジエチルチオキサントン-9-オン	82799-44-8	モデル 生態濃縮		オクタノール/ 水分配係数	6.16	POW 分配係数
ピグメントブルー15	147-14-8	実験BCFCarp	42日	生物濃縮係数	<11	OECD 305E- 生態濃縮魚類
置換アミンオリゴマ ー	営業秘密	分類にデータが利用できない、あるいは不足している	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
2,4-ジエチルチオキサントン-9-オン	82799-44-8	推定値 生態濃縮		生物濃縮係数	450	推定値:生態濃縮係数
ジフェニル(2,4,6-トリメチルベンゾイル)ホスフィンオキシド	75980-60-8	実験 BCF-Carp	56日	生物濃縮係数	<55	別法

土壌中の移動性

混合物としてのデータがない

オゾン層への有害性

混合物としてのデータがない

13. 廃棄上の注意

- ・廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。

- ・廃塗料、廃溶剤、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約(マニフェスト)をして処理をする。
- ・容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
- ・排水処理等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託をすること。
- ・空容器は内容物を完全に除去してから処分する。
- ・異種の塗料廃棄物を混合して処理する場合は、各種法規制に従って混合処理の可否を判断すること。

14. 輸送上の注意

取り扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。
容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。

国連番号 (UN No.) :3082
国連輸送名 :環境有害物質(液体)
(Proper Shipping Name)
クラス (Class) :9
容器等級 (Packing Group) :III

〔国内規制〕

陸上規制情報 :消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。
海上規制情報 :船舶安全法に定めるところに従うこと。
航空規制情報 :航空法の定めるところに従うこと。

〔国際規制〕

海上規制情報 :IMO/IMDG の規定に従うこと。
航空規制情報 :ICAO/IATA の規定に従うこと。

〔補足説明〕

※5Lまたは5kg以下の製品は以下の特別規定が適用可能である。

- 1) ICAO/IATA (A197)
- 2) IMDG (2.10.2.7)
- 3) ADR (SP 375)

15. 適用法令

消防法 :危険物第四類 第三石油類 (非水溶性)
毒物および劇物取締法 :該当しない
労働安全衛生法 :名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物
…銅及び銅化合物(1-5%)
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) :該当しない
船舶安全法 :有害性物質

16. その他の情報

参考文献

国際化学物質安全性カード(ICSC)日本語版

本データシートは、作成時または改定時において、製品及びその組成に関する最新の情報(危険有害性情報・取扱情報)を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合には追加・修正を行い改訂致します。

また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。

本製品を当社が認めた材料以外のものと混合、当社が認めた使用以外の特殊な条件で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行って下さい。